



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年1月31日

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所 東
コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 白石 博明 (TEL) 093-521-7030
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績 (2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	143,827	△5.8	2,263	△62.5	2,315	△62.1	1,128	△68.1
2024年3月期第3四半期	152,754	—	6,035	—	6,104	—	3,536	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	42.14	—
2024年3月期第3四半期	123.83	—

経営成績に関する注記

(注) 2025年3月期第1四半期より表示方法の変更を行ったため、2024年3月期第3四半期については、当該表示方法の変更を反映した後の数値を記載しております。なお2024年3月期第3四半期の前年同四半期増減率については、表示方法の変更が行われたため、記載しておりません。また当該表示方法の変更に伴い、2025年3月期第3四半期より、経営成績の売上高を営業収益に変更しております。営業収益は売上高143,305百万円と営業収入522百万円を合わせたものであり、2024年3月期第3四半期も同様に変更しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	235,477	158,934	67.5	5,935.63
2024年3月期	232,246	159,361	68.6	5,951.52

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 158,934百万円 2024年3月期 159,361百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
2025年3月期	—	29.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	189,454	△1.4	3,062	△44.1	3,106	△44.1	1,700	△45.3	63.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	29,784,400株	2024年3月期	29,784,400株
2025年3月期3Q	3,008,023株	2024年3月期	3,007,890株
2025年3月期3Q	26,776,395株	2024年3月期3Q	28,562,554株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
3. 補足情報	8
(1) 商品部門別販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2024年4月1日から2024年12月31日)におけるわが国経済は、経済活動の正常化やインバウンド需要の回復等により緩やかな景気の回復が見られる一方で、世界的な政情不安や戦乱、中国経済の減速、円安などに起因する物価上昇など、先行き不透明な状態が継続しております。

小売業界におきましては、賃上げを背景とした雇用・所得環境の改善が見られるものの、原材料費、人件費、物流費などの上昇の影響により、家計へのインフレ懸念は残存し個人消費は足踏みの状況が続いており、引き続き厳しい経営環境となっております。

営業の概況としましては、異業種含む競合各社との競争激化や、物価上昇による日常生活における節約志向の高まりなどにより、非常に厳しい結果となりました。売上総利益については、PB比率は横ばいで推移しておりますが、原材料価格上昇などの影響により、前期より減少いたしました。販売費及び一般管理費については、ほぼ計画通りの進捗ですが、水道光熱費の上昇の影響が大きく前期より増加いたしました。

また、新規出店については、3店舗の新設を行い、退店につきましては3店舗の閉設を行い、当第3四半期会計期間末における店舗数は34府県にわたり361店舗となりました。

これらの結果、営業収益は1,438億27百万円(前年同期比5.8%減)、営業利益は22億63百万円(前年同期比62.5%減)、経常利益は23億15百万円(前年同期比62.1%減)、四半期純利益は11億28百万円(前年同期比68.1%減)となりました。

(セグメント別状況)

① 資材・DIY・園芸用品

首都圏連続強盗事件の影響により防犯意識が高まり、ガラスフィルムやセンサーライトといった防犯用品は大きく伸長しましたが、夏場の猛暑や残暑の影響も有り草花苗・野菜苗・花鉢やそれらに連動して用土・肥料・薬品などが低調でした。その結果、売上高は667億73百万円(前年同期比5.2%減)となりました。

② 生活用品

夏場の猛暑や残暑の影響により飲料が大きく伸長しました。一方で第3四半期において長引く残暑の影響で暖房用品が低調でした。また、異業種との競争が激化している家庭用品が大変苦戦をしました。その結果、売上高は372億55百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

③ 家具・ホームファッション用品

マットレスやタオルケットなどの寝具用品や折りたたみラグは好調に推移しましたが、ベッドや食卓セットなどが低調でした。その結果、売上高は264億35百万円(前年同期比6.5%減)となりました。

④ その他

昨年大きく伸長したペット用品の反動が大きく、加えて自転車やカー用品も低調でした。その結果、売上高は128億40百万円(前年同期比6.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、2,354億77百万円(前事業年度末比32億31百万円増)となりました。増加の主な要因は、建物及び構築物の増加(前事業年度末比27億37百万円増)によるものです。

負債は、765億42百万円(前事業年度末比36億57百万円増)となりました。増加の主な要因は、設備関係支払手形の増加(前事業年度末比21億6百万円増)、支払手形及び買掛金の増加(前事業年度末比20億12百万円増)によるものです。

純資産は、1,589億34百万円(前事業年度末比4億26百万円減)となりました。減少の主な要因は、利益剰余金の減少(前事業年度末比4億24百万円減)によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の業績予想につきましては、2024年10月25日に公表した数値から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,997	31,952
売掛金	4,513	4,945
商品	60,562	61,154
その他	1,504	1,762
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	99,574	99,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	64,025	66,763
土地	49,171	49,171
建設仮勘定	1,013	124
その他(純額)	5,000	6,097
有形固定資産合計	119,210	122,155
無形固定資産	3,210	3,350
投資その他の資産	10,251	10,160
固定資産合計	132,672	135,666
資産合計	232,246	235,477
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,447	26,460
短期借入金	18,820	18,575
1年内返済予定の長期借入金	8	-
未払法人税等	362	46
未払金	4,322	4,559
設備関係支払手形	2,462	4,568
賞与引当金	955	484
役員賞与引当金	31	-
資産除去債務	3	27
契約負債	3,069	2,955
その他	3,962	3,297
流動負債合計	58,445	60,974
固定負債		
退職給付引当金	3,014	2,982
役員退職慰労引当金	744	764
資産除去債務	6,538	6,731
その他	4,141	5,089
固定負債合計	14,439	15,568
負債合計	72,885	76,542

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金	4,223	4,223
利益剰余金	157,788	157,363
自己株式	△6,351	△6,351
株主資本合計	159,198	158,773
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	162	161
評価・換算差額等合計	162	161
純資産合計	159,361	158,934
負債純資産合計	232,246	235,477

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	152,105	143,305
売上原価	101,259	95,313
売上総利益	50,845	47,991
営業収入	648	522
営業総利益	51,494	48,514
販売費及び一般管理費	45,459	46,250
営業利益	6,035	2,263
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	14	16
受取手数料	78	56
受取保険金	61	52
その他	96	131
営業外収益合計	250	257
営業外費用		
支払利息	92	145
災害による損失	68	42
その他	20	17
営業外費用合計	180	205
経常利益	6,104	2,315
特別利益		
固定資産売却益	-	36
受取保険金	-	21
特別利益合計	-	57
特別損失		
固定資産除却損	232	98
減損損失	257	48
災害による損失	-	345
特別損失合計	490	492
税引前四半期純利益	5,614	1,880
法人税等	2,077	752
四半期純利益	3,536	1,128

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

従来、テナント等からの不動産賃貸収入は、営業外収益の「受取家賃」に計上し、これに対応する費用を営業外費用の「不動産賃貸原価」に計上しておりましたが、第1四半期会計期間より「受取家賃」については、「営業収入」に含めて、「不動産賃貸原価」については、「販売費及び一般管理費」に含めて表示する方法に変更いたしました。

この変更は、テナント等の誘致による集客力の向上などの相乗効果を見込み、不動産賃貸収入を重要な収益基盤として位置付ける方針が明確となったためです。また不動産賃貸収入の重要性は、今後さらに高まることから、事業の実態をより適切に表示するために行ったものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期累計期間の四半期財務諸表の組替えを行っております。この変更により、営業外収益の「受取家賃」に計上しておりました391百万円は「営業収入」として組替え、営業外費用の「不動産賃貸原価」に計上しておりました161百万円は「販売費及び一般管理費」に組替えております。

この結果、従来の方法に比べ、前第3四半期累計期間の「営業総利益」が391百万円、「営業利益」が230百万円増加しておりますが、「経常利益」及び「税引前四半期純利益」に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損 益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	70,411	39,708	28,286	138,407	13,698	152,105	152,105
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	70,411	39,708	28,286	138,407	13,698	152,105	152,105
セグメント利益	24,880	10,622	11,441	46,943	3,901	50,845	50,845

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損 益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	66,773	37,255	26,435	130,465	12,840	143,305	143,305
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	66,773	37,255	26,435	130,465	12,840	143,305	143,305
セグメント利益	23,742	9,835	10,749	44,328	3,663	47,991	47,991

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	4,407百万円	4,738百万円

3. 補足情報

(1) 商品部門別販売の状況

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	70,411	46.3	66,773	46.6	94.8
生活用品	39,708	26.1	37,255	26.0	93.8
家具・ホームファッション用品	28,286	18.6	26,435	18.4	93.5
その他	13,698	9.0	12,840	9.0	93.7
計	152,105	100.0	143,305	100.0	94.2

(注) 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品、ヘルス&ビューティー、アウトドア用品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他